

看護管理者のための 訪問看護研修

～地域包括ケア推進となる看護管理者の育成を目指して～

兵庫県看護協会
訪問看護総合支援センター
看護師職能 I 委員会

なぜ？看護管理者が訪問看護研修

病院看護管理者に求められる役割は？

地域まで視野を広げた看護管理を行うことが求められている

(日本看護協会病院看護管理者のマネジメントラダーより)

- **施設外の関係者と連携することができる** (師長相当の組織管理能力)
- **医療・看護の動向や地域の状況などに関する情報を活用し、自部署および地域の看護ニーズの変化を予測して対応することができる** (師長相当の創造する能力)
- **地域で必要とされる人材の育成に参画することができる**

(副看護部長相当の人材育成能力)

平成8年以降、在宅看護論のカリキュラムが変わっています。50代以上注意！！

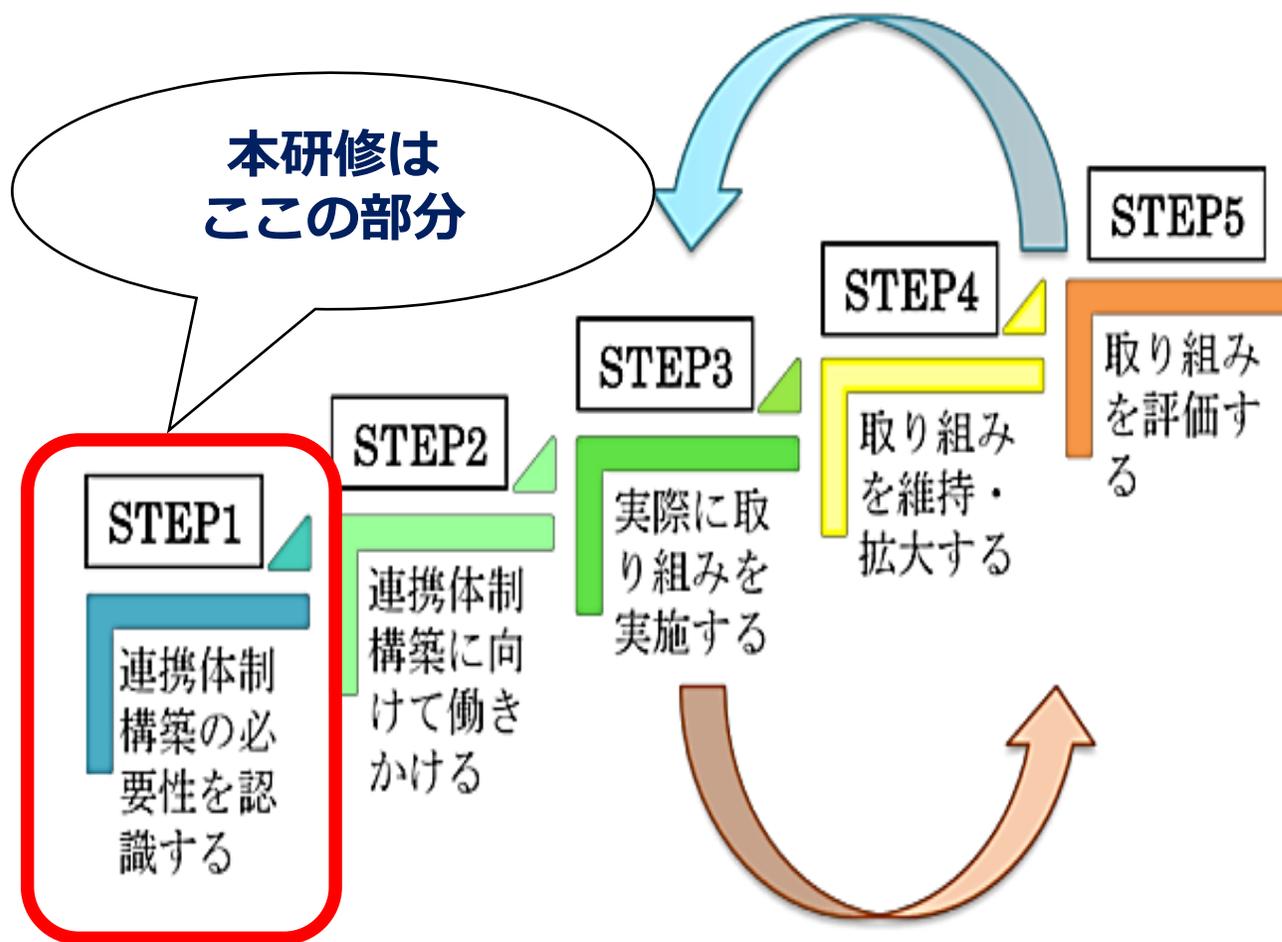


図2. 看看連携構築のプロセス

- **STEP1：連携体制構築の必要性を認識する**
- **STEP2：連携構築に向けて働きかける**
- **STEP3：実際に取り組みを実施する**
- **STEP4：取り組みを維持・拡大する**
- **STEP5：取り組みを評価する**

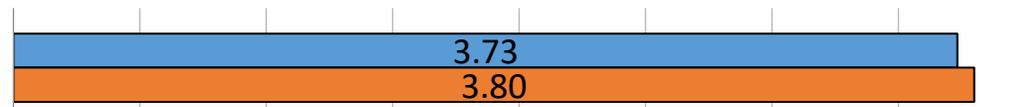
看護管理者のための訪問看護研修の目的

1. 病院の看護職と訪問看護事業所及び介護関連施設等の看護職が互いにそれぞれの役割を理解し、組織を越えた連携体制構築の必要性を認識する。
2. 地域包括ケア体制の推進に向けた看看連携の強化・協働推進を目指す



地域（施設外）を見る・知る → 働きかける

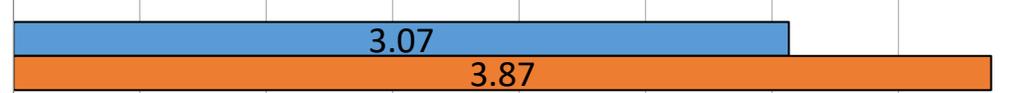
1. 看護管理者として、看護師個人の能力を高めてよりよいケアが行えるようにすることが必要だと思う



2. 看護管理者として、院内外の看護職同士や多職種での協働のしくみをつくる必要があると思う



3. 地域における自施設の役割を認識し、看護管理者として何をすべきか理解できていると思う



4. 地域が抱える医療、介護の課題について理解できていると思う



5. 看護師の退院支援の力を育むためには、訪問看護研修が必要だと思う



6. 地域の看護職がつながることが大切だと思う



7. 地域の看護師との連携を望む



全体評価

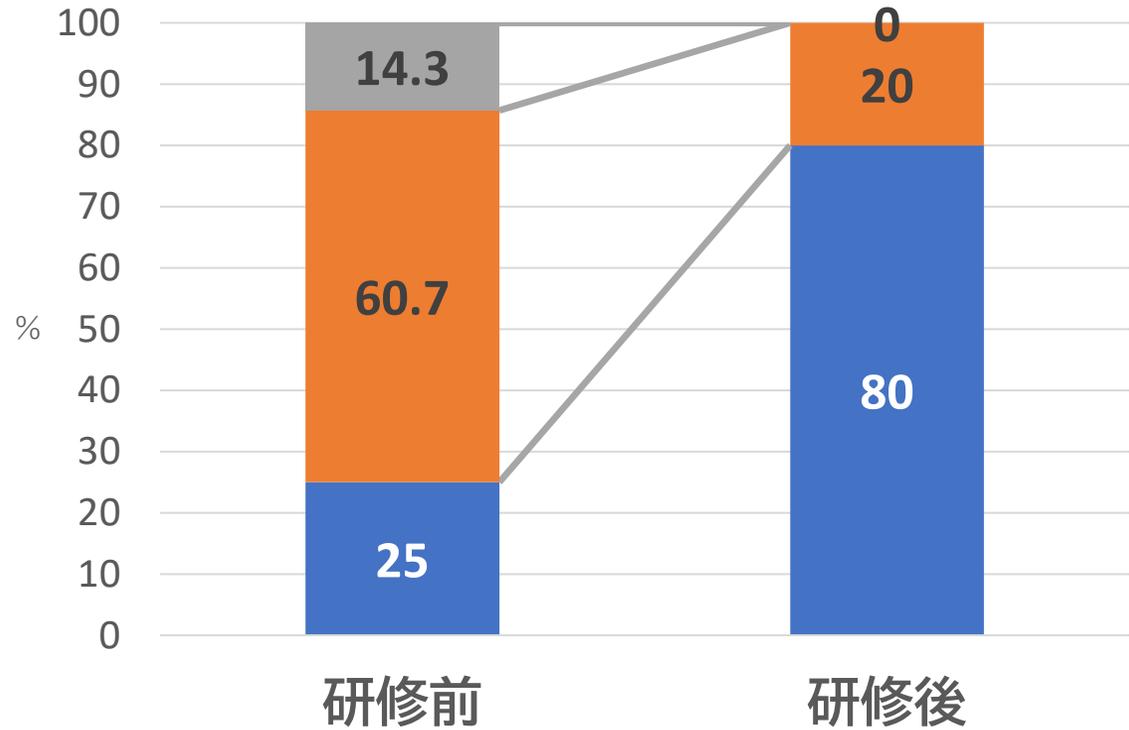


■ 研修前 ■ 研修後

0.00 0.50 1.00 1.50 2.00 2.50 3.00 3.50 4.00

3. 地域における自施設の役割を認識し、看護管理者として何をすべきか理解できたと思う

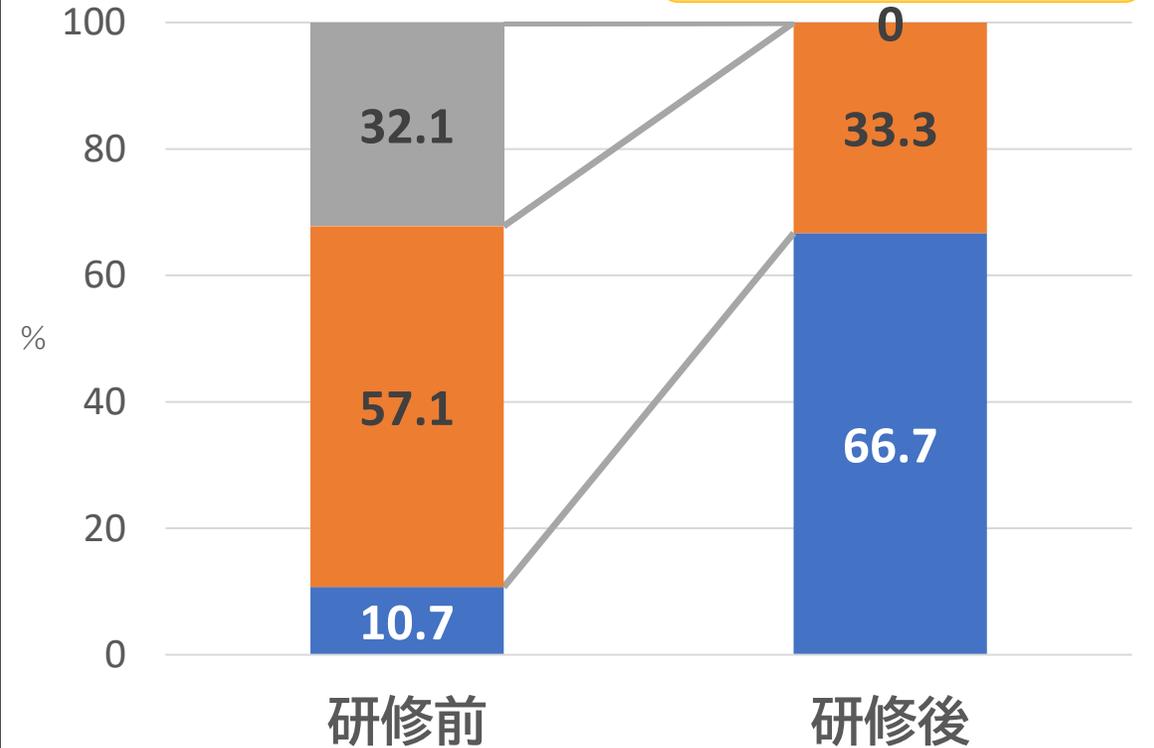
研修効果があります



■かなり思う ■まあまあ思う ■あまり思わない ■まったく思わない

4. 地域が抱える医療、介護の課題について理解できていると思う

研修効果があります



■かなり思う ■まあまあ思う ■あまり思わない ■まったく思わない

STEP 1
**連携体制構築の
必要性を
認識する**



STEP2
**連携体制構築に向けて働
きかける**



STEP3 実際に取り組みを実施する



STEP4 取り組みを維持・拡大する



STEP5 取り組みを評価する

マネジメントラダーレベルⅡ <師長相当>
自部署の看護管理が実践できる

能力	定義
組織管理能力	自病院が地域の医療資源のひとつであると理解し、施設外の関係者と連携することができる
政策立案能力	医療の動向を踏まえ、制度改正などへの対応を事前に準備することができる
創造する能力	地域に共通の保健医療福祉サービスの課題を想定し、課題解決に向け調整することができる 医療・看護の動向や地域の状況などに関する情報を活用し、自部署および地域の看護のニーズの変化を予測して対応することができる

研修後、マネジメントリーダー実践への活用例

STEP 1

連携体制構築の
必要性を
認識する



STEP2

連携体制構築に
向けて働きかける



STEP3 実際に取り組みを実施する



STEP4 取り組みを維持・拡大する



STEP5 取り組みを評価する

STEP 1

自部署での連携体制の不足を痛感
自部署の地域連携の現状を再確認
自部署で着手できることを検討
地域連携室にも相談

STEP 2

自部署で学びを共有
着手しやすいところから介入
次世代の看護管理者に講義
他部署の師長へ学びを共有

STEP 3

院内の管理者研修として実施し問題解決に取り組む

研修での学びを
マネジメントリーダー
実践に、つなげる
ことができます